

癌化学療法 投与計画書（新規・変更）

加療番号

氏 名

生年月日

性別

提出日

主治医

病名： 多発性骨髄腫

患者本人へ説明した内容：

プロトコール名：DBLd療法（移植適応 1～2サイクル目）

クール目

開始日

次回予定日

身長(cm)

体重(kg)

体表面積(m²)

確認事項

	薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	DAY 1	DAY 2	DAY 3	DAY 4	...	DAY 8	DAY 9	DAY 10	DAY 11	DAY 12	...	DAY 15	...	DAY 21	DAY 22	標準投与量
							1月 0日	1月 1日	1月 2日	1月 3日		1月 7日	1月 8日	1月 9日	#####	#####		1月 14日		1月 20日	#####	
1	レブラミドカブセル(6mg)	25mg/body		経口		Corが30～49ml/minの患者は10mg/body	○	○	○	○	...	○	○	○	○	○	...	○	...	○		
2	モンテルカスト錠(10mg)		1錠	経口		1サイクル目day1のみ 内服処方	○															
3	レスタミンコウ錠(10mg)		3錠	経口			○					○						○				○
	カロナール錠(200mg)		4錠	経口			○					○						○				○
4	レナデックス錠	40mg/body	40mg	経口		ダラキューロ投与 1～3時間前に内服	○	○	○	○			○	○	○	○						
	レナデックス錠	20mg/body	20mg	経口								○										
	レナデックス錠	※8mg/body	※8mg	経口														※○			※○	
5	生理食塩水		0 mL	皮下注			○			○												ボルテゾミブ
	ボルテゾミブ	1.3mg/m ²		皮下注		1Vあたり SS12mLで溶解	○			○		○			○							0mg
6	ダラキューロ	15mL/body (ダラフスマブとして 1800mg)		皮下注	3～5分 かけて投与	調製後 4時間以内に投与	○					○						○			○	ダラキューロ 15mL

※DLBd承認の臨床試験ではday15、22はデキサメタゾン10mgではあるが、当院血液内科と相談の上、当院では割線のないレナデックスでの処方をするため8mg/bodyとする。
(承認プロトコール通り、デキサメタゾン10mgを処方したい場合はデカドロン錠4mg 2.5錠で処方)

1サイクル： 28日
投与日：ダラキューロ day1,8,15,22
ボルテゾミブ day1,4,8,11
レブラミド day1-21
サイクル数： 1回

臨床試験では、Dara→Borの順に投与しているが、メーカー確認したところ、投与順に意味はないとのこと。
当院では他レジメンに準じてBor→Daraの順で投与とする。

《注意事項》
1.この計画書は、初回投与までに提出してください。提出のない場合は、混注対象外とします
2.計画を変更する場合は、その都度、計画書を提出してください。

※投薬上の注意などありましたら、ご指示下さい。